

●両小学校の現況、学校教育目標、学校経営の重点、研究主題、特色ある教育活動

| | |
|--|-----------|
| 学校名 | 石狩市立石狩小学校 |
| <p>【現況】</p> <p>本校は今年度開校144周年となる歴史と伝統を誇る学校である。地域は歴史的に役場をはじめ官公庁が集中し、石狩町（平成8年市政施行）の中枢をなしてきたが、市役所の移転や漁業の衰退により過疎化現象が進み、児童数も減少の傾向となっている。平成元年以降は普通学級6学級の体制で推移している。平成21年度から特別支援学級が開設し、現在は7学級となっている。</p> <p>児童は明朗で純朴な子が多く、物事に真面目に取り組む反面、自ら進んで意欲的に物事に取り組む姿勢や自らを表現していく姿勢に弱さがあり、課題として取り組んでいるところである。学校近隣の住民は本校卒業生が多く、学校に協力的である。また、保護者も学校の教育活動に協力的である。</p> <p>児童生徒数の減少傾向や校舎施設の老朽化などから、平成32年3月で閉校となり、八幡小学校と統合することになっている。（平成29年度 石狩小学校教育課程編成届より）</p> <p>【学校教育目標】</p> <p>「自ら学び心豊かにたくましく生きる石狩の子」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いたみのわかる子（情）…「やさしさ」 ・しんけんに学ぶ子（知）…「かしこさ」 ・からだを鍛える子（体）…「笑顔」 ・りそうに向かう子（意）…「夢」 <p>【学校経営の基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が楽しく学び、ふれあう喜びをもち、いじめのない学校をめざす。 ・「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかでたくましい心身」を育む調和と創意溢れる教育課程を編成し実施する。 ・児童一人一人が進んで学び、基礎・基本の定着を図るための学習指導の充実に努める。 ・心身の健康の保持、増進及び安全への知識や態度の育成に努める。 ・豊かな心、たくましい意志と実践力を育む学級集団づくりに努める。 ・児童一人一人のニーズに応える特別支援教育の推進に努める。 ・全職員が人間性を高め、教育愛と使命感、共育意識を持ち、創意溢れる教育活動に努める。 ・全教師が専門職として、授業力向上や課題解決を目指す実践的な研修活動に努める。 ・指導力向上、有益な教育活動推進のため、教育人材や地域人材を積極的に活用する。 ・石狩中学校区小中学校との連携を推進する。 | |

【研究主題】

『学ぶ喜びと楽しさを感じ、確かな学力を身につける子どもの育成』
～基礎基本を定着させる、個に応じた学習指導の工夫・算数科を通して～

【特色ある教育活動】

地域とともに、子どもの自立を援助する教育の推進。

「地域とともに、夢と笑顔を、やさしさとかしこさを」（めざす学校像）

- ①海浜など地域の素材を生かした、「地域探検隊」等の教育活動
- ②地域と連携してのボランティア活動や交通安全の取り組み
- ③地域の行事や伝統的な取り組み等への参加体験
- ④保育所、幼稚園等との連携活動

【教育課程編成・実施上の工夫】

- 「確かな学力」の育成に向けた取組
 - ・習熟度別指導の充実・T Tの継続・全校朝読書・放課後学習の実施・I C Tの活用
 - ・C R Tの全学年実施・前期末、後期末の振り返り時間の設定・『ひとり学習』の取り組み
 - ・ノート指導の充実・学習規律の徹底・学習プリントの整備
- 「豊かな心」の育成に向けた取組
 - ・道徳の時間の授業公開。Q U検査の全学年実施
 - ・全校道徳（子どもの心に響く道徳教育推進事業活用）
 - ・縦割り班を活用した各種活動・挨拶運動や特別支援学級との交流学习
 - ・浜益小とのパートナースクール・薬物乱用防止教室
 - ・総合的な学習での地域や人との関わり
 - ・いじめアンケート』や相談週間の実施・スクールカウンセラーの活用・全校朝読書
- 「健やかでたくましい体」の育成に向けた取組
 - ・縄跳びを中心とした体力づくり・水泳学習、スキー学習・食の指導、性教育
 - ・交通安全教室、避難訓練・体力向上の場を設定する「まなびトレーニングウィーク」
 - ・「生活リズムチェック」の取り組み
 - ・「いしかりふれあいDAY」の取り組み（P T Aと連携して）

学校名

石狩市立八幡小学校

【現況】

学校周辺は、稲作・畑作地帯、住宅地、商店地域、丘陵地など、変化に富んだ集落と豊かな自然に恵まれた地域である。

農村・漁村地域の児童数は減少の一途にあり、かつて増加していた新興住宅街の児童数も減少が加速化してきており、今年度は3、4年生が複式学級編制となった。

また、このような環境から、保護者の教育に対する考えや要望も多様化している。

本校の児童の性格や行動の実態は、概ね明るく素直で活動的である。また、協調性も見られる。反面、基本的な生活習慣や粘り強くやり抜く根気、自分の考えや意見をしっかりと表現する力など、指導を強めていかなければならない点も見られる。

(平成 29 年度 八幡小学校教育課程編成届より)

【学校教育目標】

自らの生活を創造する人間性豊かな児童の育成

○思いやりの心を持って生活する子・・・徳

○学ぶ喜びがわかり進んで学習する子・・・知

○運動の楽しさを知り自らをきたえる子・・・体

【学校経営の基本方針】

- ・中学校区での連携を図り、知徳体のバランスのとれた教育活動を進める。
- ・いじめ等の未然防止、学びに向かう土台を築く集団づくりを進め、合理的な配慮にもとづく特別支援教育の充実を図る。
- ・家庭・地域の思いを受け止め、信頼関係を高める開かれた学校づくりを進める。
- ・教育目標の具現化を目指し、全教職員の創意と協働による活力ある学校経営を進める。

【研究主題】

言葉の力を実感し、主体的・協働的に学ぶ児童の育成

－生きた言葉が育む確かな言語力と

教科等間の相互連携を図る協働的言語活動－

【特色ある教育活動】

- 1.挨拶運動の奨励による明るい学校づくりの推進
- 2.基礎学力・体力の向上
 - ・全校朝読書の推進
 - ・「読む・書く・計算」を主とした朝学習の取り組み（朝学習検定制度の導入）
 - ・全校でのN I Eの取り組み
 - ・ハッチマンサーキットの設置と活用
 - ・チャレンジコーナーにおける体力向上の取り組み
 - ・石狩市スポーツまつりへの積極的参加とその取り組み
- 3.地域の理解や交流を深める体験活動
 - ・畑作学習と食育指導
 - ・歩道の植樹帯の花壇づくり
 - ・校舎内外クリーン作戦
- 4.八幡なかよし太鼓による地域文化の伝承
 - ・老人福祉施設の訪問と交流

【教育課程編成・実施上の工夫】

- 「確かな学力」の育成に向けた取組（具体的に）

平成28年度からの2年計画で進めていく研究「言葉の力を実感し、主体的・協働的に学ぶ児童の育成～生きた言葉が育む確かな言語力と教科等間の相互連携を図る協働的言語活動～」では、昨年度までの研究内容を土台に、各学年ブロックでのめざすべき児童像、身につけさせたい力、指導の系統性を明らかにした実践と「全校で統一した学びの積み上げ」が確実に進められている。基盤となる語彙力の育成を図るとともに、支持的風土のある学級づくりの充実や授業のユニバーサル化を積極的に取り入れ、言語力の向上を図ってきた。
- 「豊かな心」の育成に向けた取組（具体的に）

体力づくりの場「ハッチマンサーキット」を体育や休み時間の遊びなどで積極的に活用する。日常の業間体育「チャレンジコーナー」の取組や「縄跳び集会」、課外活動「駅伝大会、たすきリレー大会」の積極的な参加など、体力・運動能力向上に向けた各種取組を今後も継続して推進する。日常の体育や休み時間の遊び指導、新体力テスト、運動会練習、水泳学習、スキー学習などの補助として、外部人材（SAT）の積極的な活用を推進する。
- 「健やかでたくましい体」の育成に向けた取組（具体的に）

本校の「縦割り班活動」（全校食育活動、児童会行事、清掃活動、いじめを考える集会など）はとても重要な取組であり、発達段階に応じた児童それぞれに高まりがみられる。高学年はリーダーシップを発揮してお手本となり、低学年は上の学年から学んだり尊敬したりする気持ちが育っている。また、入学当初の「6年生による1年生のお世話」も、1年生にとっても、お世話をする6年生にとっても大変有効な活動である。